



森ボラ 通信

NPO 法人

北海道森林ボランティア協会

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8 ラルズ生活研究センター

TEL (fax.): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrinv2002@nifty.com

第260号 2024年1月20日発行

2024年 新春



(森の写真・三橋)

自然を愛し、共に生きる。

北海道森林ボランティア協会

理事長 横山 清

謹賀新年、あたらしい年を迎えましたが、元日
早々にして令和六年能登半島地震に見舞われ、
翌日には海保機と日航機が衝突炎上するという
予期せざる事象の連続発生に茫然自失の正月で
した。

あらためて自然災害の恐ろしさを再認識すると
同時に、最先端の技術集積である航空輸送体系
に於ても大惨事が簡単に起きることへの自戒も
含め、敢えて記載させて頂きました。

さて私達は何を以て、この事象に対処すべきか
を考えました。何よりも極寒の被災地で苦しむ
方々への寄附も含めた賛助行為も当然の事です
が、それだけでは納得できません。何時起きる
か分らぬ災害に備えるには、どの様な心構えが
必要なのであろうか。この地球に生き続ける
我々のなすべきことは、誠に短絡的な思考です
が「自然を愛し、自然を大切にして、自然と共
に生きること」ではないかとの思いに到りまし
た。

更に皆様と一緒に『百年後のために木を植え育
て続けること。』それを以て、今年ありがたく
『卒寿』を迎えた私の決意と新年の御挨拶と致
します。

■ 寄稿

『空師』

森ボラは20年過ぎても活発に活動が続いていることに心から敬服申し上げます。

今日は足が弱った自分がやりたかったけど出来なかったことを文章で参加します。

35年程前この写真の空き地にはヤマドリもシマヘビもネズミも来て賑やかでした。その後一時期野良猫に占領されましたがスズメも復活し今はヒヨドリの天国でエゾクロテンも来て森ボラHPに書きました。

ミズナラの木は樹形もいいし動物たちの格好の遊び場なのに町内の人達からは大変嫌われています。落葉が風で玄関や駐車場に吹き込むからです。アパートの若い住人一人だけが作業中にリスが来るので切らないでと言いました。3年前写真のように矢澤さんに空師をやってもらい丸坊主にしました。私はと云えば今も落葉を集めてこの木の根元でダイコンを作っています。尚この空き地のササバギンランもウドも健在です。

このような空き地は札幌中にあることを知っていますが高い技術力の他に近隣住民との強靱な交渉力が求められます。（文・酒井和彦）

*注釈：「空師(そらし)」高い木に登って枝や幹を伐る、樹上作業の専門家。



■ 活動報告

◆新年恒例の伐木安全講習開催

毎年恒例の「伐木安全講習」を2024年最初の活動日1月10日に開催した。

今年は澄川都市環境林の小屋近くにある枯れかけた2本立ちのケヤマハンノキの、向かって左側の幹を伐採することにしました。この木はクマゲラの古い食痕があり、様子を見ていましたが倒れると一番頻りに利用している作業道に掛かり被害が出る可能性がありました。

最初の座学では、安全に伐倒する注意点などを大窪さんが説明し、質疑応答を行いました。伐倒方向の確認、反対側に樹高以上離れる。笛を利用して合図、掛り木が予想される場合はボールを利用。

周囲作業者はチェンソー作業者と連絡を密にし、目を離さない。

などを学習しました。



座学（立ったまま実施）の様子

実技では矢野さんがチーフになり、伐倒方向を決めその方向にチルホールを使って長さ30mのワイヤーを張り、引っ張った状態でチェーン操作が始まりました。受け口、追い口と進みましたが、隣のシカンバに掛かり、動かなくなりましたが、ロープを樹木が回転するように巻き付け引っ張ると枝が外れ、伐倒が無事に終了しました。伐倒技術の感動！



玉切りした幹を見ると中央部は腐っていて、倒れる寸前と思われた。この講習体験を実際の現場で活用しましょう！

(文・事務局)

実技（隣のシカンバに掛かった）の様子

■ 事務局からのお知らせ

◆ 冬季セミナーの予定

今年の冬季セミナーは12月の応急救急手当講習に始まり、今後の予定は下記のように決まりました。皆さま多数の聴講をお願いします。講演は会員外の方も参加できますので、事務局へ連絡をお願いします。

開催日	開催場所	会員例会(13:30～)	講演(15:00～16:30)
1月17日(水)	札幌エルプナ 2F 環境研修室	「各地の生長調査」(樫棒) 「澄川の草花」(三橋)	(株)建設環境研究所札幌支店 支店 長代理 酒巻 一修様
2月13日(火)	札幌エルプナ 2F 環境研修室	「多面活動」(大窪) 「親子森林教室」(清澤)	(株)やまのかいしゃ(Outwoods) 足立 成亮様
3月9日(土)	北農健保会館	「反省と2024年計画」(松藤) 「水質調査報告」(本郷)	大西林業 代表 大西 潤二様

■ 澄川の自然 53

キボシアシナガバチと巣

昨年秋、場所は少し離れているのですが、2度このハチの巣が作業道に落ちているのを見付けました。

初め落ちているのを見て、きれいだね!で終わっていましたが、2度目になると、うん? 本当はもっとあるのではないかと思い始めました。調べてみました。このハチは一つの巣で働きバチの数は多くて20匹位、育室数は普通100以下で小さめ、低山地の樹木の地上約1~2mの高さにある枝や葉の裏に巣をつくります。スズメバチに比べ



ると、毒性は弱めですが毒針を持っているので不用意に刺激すると攻撃され、アナフィラキシーショックを引き起こします。

春、女王バチは冬眠からさめ、働きバチを生み、育て、次の女王バチを生むと秋には働きバチと共に死んでしまいます。(写真・文/西野(澄))



[キボシアシナガバチの特徴]

- ・背中の上に模様がない
- ・背中の後ろに細い黄色い帯が走っている
- ・腹部に茶色の帯がある
- ・全体的に茶色っぽい
- ・約12~18mm程度など

■今月の幹事会

出席者(1/11):大窪・荻田・樫棒・清澤・松藤・平・老田

1. 2024年2,3月活動スケジュール(2月幹事会2/7(水)):了承
2. 2023年12月会計報告:了承
3. 2023年度森林・山林多面交付金事業12月報告:消耗品購入は12月末で締切り。
4. 2024年度第9期親子森林教室申込状況:1/14時点で新規13名、継続1名、計14名。
5. 2024年度野幌トロッポの森活動:春は49林班へ小班、秋は50林班り小班的植樹。地拵えした植栽列にアカエゾマツ、トマツを縦間隔2.5mで各一列おきに植樹。広葉樹は自然放置列の実生苗を育成。
6. 現場報告
 - ・澄川F地区整理伐状況:F-1,2整理伐対象木本数の約25%終了。
7. その他
 - ・森ボラ新ホームページ進捗報告:12月の訪問者は減少。
 - ・冬季セミナー講演予定:別途掲載。
 - ・2024年度年間活動計画:理事会前の臨時幹事会開催を1週間早める。夏季は前日17時最高気温予想が34℃以上は活動休止、30℃以上は午前中の活動。WBGT計の指数に注意。
 - ・いろはすサステナビルディングキャンペーン寄付活動:いろはす購入が寄付金に繋がる。

■活動履歴

月日	行事・活動地	参加人数	活動内容
12月16日(土)	澄川	15	F-1,2整理伐、日本道路CSR活動(整理伐)
12月20日(月)	澄川	18	小屋前枯損木伐倒、A-2危険木処理、E-8モニタリング調査
1月10日(水)	澄川	13	除雪、伐木安全講習
1月11日(木)	ろくろ生活研究センター2F	7	幹事会
1月13日(土)	澄川	9	F-1,2整理伐(手ノコ)、F-4モニタリング調査
	野幌道有林	4	防獣網の点検・補修、ハトシキター補修